

雄飛

2025年/春号

Vol.31



令和6年度 卒業証書・ 学位記授与式

令和7年3月20日(木・祝)に
卒業式が行われました。

- ◇大学院(第31回)
99名
- ◇大学(第60回)
962名
- ◇短大(第64回)
147名

計1,208名が新たに同窓会
正会員となりました。



令和7年度 合同入学式

令和7年4月2日(水)に入学式が行われました。

- ◇大学院(第33回) 105名
- ◇大学(第63回) 1,128名
- ◇短大(第66回) 109名

計1,342名が新たに同窓会学生会員となりました。



学校法人福岡工業大学 常務理事就任挨拶



常務理事
川口 敏弘

このたび、常務理事に就任しました川口でございます。日頃より、同窓会員の皆様におかれましては、学園の発展に向けて様々なご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

私は、この学園に平成5年入職、経理・財務部門を中心におよそ30年にわたって務めて参りました。この間の学園の変貌はめざましく、校舎建設・最新設備導入等によるキャンパスのアップデート、教育・研究活動の改善・高度化、志願者・入学者の拡大、就職・進学成績向上等、諸活動の成果はいっそう高レベルに移行しています。新聞社等で編集される大学ランキングでは、全国有数の評価を受ける指標も多く、教育・研究・就職力では「九州私学NO.1」が定位置になりつつあります。諸先輩方の侃々諤々、時に喧々囂々の多様な議論が集合知として形成され、教職員一体の取組・協働が結実しているものと存じます。幾度となく大学改革の好事例として全国に周知されているところでもあります。

しかし、これから学齢人口はさらに減少、経済状況はいっそう不安定化、経営環境はますます悪化、大学間競争は熾烈化するものと考えられます。このような中で、学修者本位の教育への転換、理系人材育成の拡充、情報公開の充実等、大学への社会的要請は一段と高まっています。

私も、上述の大学改革の取組みに磨きをかけ、さらに成果を拡大し、社会から強く支持され、もって「永続する学園」を目指して参ります。私も微力ながら全力を尽くす所存であります。同窓会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

2024年度 課外活動実績報告



ラグビー部	第62回木元杯 九州セブンズ 優勝 なの花薬局ジャパンセブンズ2024 7位 令和6年度 九州学生ラグビーリーグ 優勝 第61回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 3回戦進出
吹奏楽団	第69回九州吹奏楽コンクール大学の部 金賞 第72回全日本吹奏楽コンクール大学の部 銀賞 第50回九州アンサンブルコンテスト大学の部 金賞 第48回全日本アンサンブルコンテスト大学の部 金賞
女子柔道部(個人)	第37回九州学生女子柔道体重別選手権大会 78kg級 3位 2024年度全日本学生柔道体重別選手権大会 78kg級 出場
軟式野球部	令和6年度九州学生軟式野球連盟 春季大会 優勝 第47回全日本学生軟式野球選手権大会 出場
FITモノづくりセンター	九州ロボットコンテスト2024 モノづくりフェア杯 優勝
モノづくりセンター 二足ロボットプロジェクト	第42回ヒューマノイドカップ ロボットバトル大会 優勝 第27回ROBO-ONE Light 決勝トーナメント 出場

部活動 PICKUP

体育会アイスホッケー部創部 40 周年記念祝賀会を迎えて

福岡工業大学体育会アイスホッケー部およびOB/OG会は、昨年5月3日に創部40周年記念祝賀会を盛大に開催しました。全国各地から多くのOB/OGが集まり、旧友との再会や先輩・後輩の新たな交流が生まれる素晴らしい機会となりました。祝賀会には雄飛会（福岡工業大学同窓会）の小柳会長にご参加いただき、力強い激励のスピーチを行ってくださいました。今後、福工大生のために雄飛会と福工大アイスホッケー部のOB/OG会が連携・協力し合うことを約束しました。なお、アイスホッケー部の歴史を振り返るフォトムービー制作にあたり、雄飛会事務局から約40年分の貴重な写真を提供していただき、感謝いたします。

さて、大学体育会にとって、組織化されたOB/OG会の存在は重要です。弊社では、創部メンバーが卒業と同時にOB/OG会を発足させ、現在まで現役生に対する資金援助や技術指導などを継続的に行っていただいています。40年の歴史で、部員の減少により活動資金が不足し、廃部の危機も経験しました。しかし、OB/OG会からの様々な支援のおかげで、現役生たちはプレーに専念することができ、更には先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、次世代へとつなげる力となってきました。

OB/OG会では発足当時から「金を出しても、口を出すな」という理念があります。OB/OG会は、現役生にいくら支援をしても、現役生とスタッフの人事や方針・戦略について、一切口を出すなという意味です。この後見的に見守るというOB/OG会の姿勢こそが、現役生の自立や苦難に立ち向かう勇気に繋がってきたと痛感しています。

一方、OB/OG会の皆様からは、この集まりが単なる思い出の会に終止させることなく、卒業後も母校に積極的に関わり続けることで、自らの経験や知識、技術を後輩たちに伝えることの重要性を何度も強調されていました。その結果、アイスホッケー部、さらには福工大をより活気あるものにしたいという願いを語っていただきました。

今後もOB/OG会の皆様、大学教職員、アイスホッケー部スタッフが、現役生と共に微力ながらも福工大のより良い未来を創り上げていきたいと思っています。

福岡工業大学 学生課長 / 福岡工業大学体育会アイスホッケー部顧問・監督

高木 泰明



第57回 立花祭 実施報告

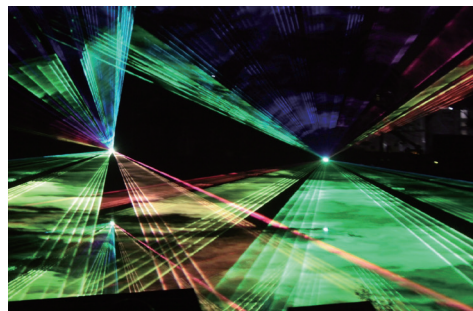
みなさん、こんにちは。学生自治会長の土田です。

まだ見ぬ景色へという意味を込めて掲げた「頂」をテーマに始まった、第57回立花祭は沢山の方々にご来場いただき無事に終えることができました。

昨年に引き続き、協賛企業や渉外店舗の増加、広報活動の拡大により、年々立花祭が盛んになってきていると感じております。イベント内容に関しても、学内の文化系サークルの展示会や音楽系団体のステージ披露を通して、来場の方々から満足いただいたという声を多くいただきました。

最後になりますが、第57回立花祭に携わってくださったみなさま、お力添えいただき本当にありがとうございました。来年度以降も更に盛り上げりのある立花祭にできるよう精進して参ります。

情報工学部 情報システム工学科 4年
土田 泉飛



第57回立花祭 雄飛会 卒業生交流イベントを開催しました！

雄飛会（福岡工業大学同窓会）では、昨年11月3日（日・祝）に開催された第57回立花祭に合わせ、卒業生同士の交流と親睦を深めることを目的に、卒業生交流イベントを開催しました。

イベント会場では、大学・短大の創設年度からの卒業アルバムや卒業生同士が歓談できる談話スペースを設けたほか、母校の学園紹介や既存学科の研究室紹介の映像を放映しました。また、母校の特徴的な施設として、多様な学びに対応できる「附属図書館」、アイデアをカタチにできる「モノづくりセンター」、学内ネットワークの中核を担う「情報基盤センター」へのキャンパスツアーも実施し、最新の学習環境や先端技術を体感していただきました。

当日は30名の卒業生にご来場いただき、県外からの団体参加や、遠く北海道からお越しくださった方もいらっしゃいました。

イベント会場で最も関心を集めたのは、卒業アルバムコーナーでした。ご自身の卒業年度のアルバムから級友を探したり、所属していたサークルの写真を探したりしながら、懐かしい思い出を振り返る姿が見られました。中には卒業後初めて母校を訪れた方もおり、当時の面影を残す「おとめが池」を除き、その他の建物、施設の充実ぶりに驚かれていました。

ご協力いただいたアンケート調査では、約8割の方が「満足」と回答され、イベントの継続を望む声とともに、現役学生とのコラボレーションを期待するご意見も寄せられました。

今後も、より多くの卒業生が集える機会を提供できるよう努めてまいりますので、ぜひご参加ください。



活躍するOB・OG

2001年に情報工学科を卒業して早や24年。コロナ禍に家業の自動車修理業を離れ、画家に転身しました。病弱であったのと元々マイペースな性分もあり、今では周囲の理解を得ています。今年は北九州市政に紹介される出来事もありました。

理工系から美術系へ未知の道程でしたが、そこは我々福工大生の強み。大学環境や校風、出会った仲間とのかけがえのない思い出がいつも私を明るく励ましてくれました。

支えてくれた家族や仲間と共に母校に感謝しています。

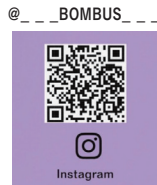
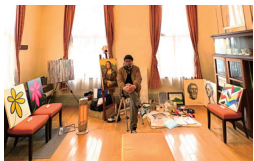
現在壁画もしているので、もし見かけた時には卒業生の作品だと喜んで頂けると幸いです。そしていつか福工大生と出会う事を楽しみにしています。



bombus

丸花 宗督

(平成13年情報工学科卒)



高校の頃、自動車やそれを開発した方への憧れ、情報技術は、今後は欠かせないとの考えから福岡工業大学を志望。在学中は自動車工学研究部とモノセン「電気自動車プロジェクト」に所属、卒業研究テーマも電気自動車の安全装置と、クルマに囲まれた大学生活を満喫しました。卒業後はご縁で三菱自動車工業株式会社に入社、まさか配属後の最初の業務が卒業研究テーマだった安全装置の量産設計になるとは夢にも思いませんでした。福岡工業大学に入学して良かった!と思う人生を歩んでいます。

その後は様々な制御装置の設計に従事した後、希望が通り、現在はオーディオシステムの設計を担当しています。2024年10月発売の三菱アウトランダーPHEV 2025年型に搭載された新世代オーディオ「Dynamic Sound Yamaha Ultimate」が代表作です。

“本物の音”にこだわり、アーティストの息遣いまで再現する究極のサウンド。三菱自動車の販売店でご試聴できます。ご機会ありましたら宜しくお願いいたします。



三菱自動車工業株式会社
インフォテインメント開発部

工藤 嘉大

(平成21年情報システム工学科卒)

FIT MUSEUM～音とモノづくりの歴史資料館～ 展示品紹介コーナー



ナショナルラジオ四球一号型
Model:R-41(1931年12月発売)

1925年7月にNHKの放送が開始され、昭和の幕開けと共に、ラジオは文化を伝える新しい媒体として、一般大衆の間で人気の的となり、1930年には、日本全国で約70万世帯に普及したと言われています。本機は、松下電器の相談役であった松下幸之助氏の助言であった「故障の少ない理想のラジオ」をモットーに開発・製造された名品です。



東京通信工業(Sonyの前身)
Model:P-2(1956年発売)

1950年に発売されたG型は“Government”のGを取ったもので、その後継機のP型は“Public”のPを取ったものだと言われています。東通工が磁気録音機を発売して6年目、P型は磁気録音機の普及を目指して販売された機種です。使用真空管:UZ-42 x2,6SJ7-GT x2,KX-80

事務局からのご案内

1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社や出版社が同窓会の名を騙り、募金・名簿などの勧誘を行っているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしております。従って、上記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら感知しておりませんので、ご注意ください。なお、同窓会全体名簿は平成11年以降発行しておりません。

3. その他

就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、そのほかお問い合わせなどございましたら、同窓会事務局までメールにてご連絡をお願いいたします。

2. 異動の連絡について

交流会案内などが皆様のお手元に届くために、住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などがございましたら、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。異動のご連絡は、同窓会HP(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の『住所変更フォーム』から行うことができます。住所変更フォームがご利用できない場合は、メールまたはFAX、ハガキでも受け付けております。



住所変更フォーム QRコード

編集後記

令和7年度より、会報の発行は春と秋の年2回となりました。内容につきましても、文章を縦書きから横書きに変更、デザインをシンプルにし、より読みやすくなるようリニューアルしました。ホームページ含め、会員の皆様には最新の情報をお届けできるよう努めて参ります。なお、次回の発行は10月下旬を予定しております。(企画・広報部)



一般社団法人 雄飛会
(福岡工業大学同窓会) 会報

vol.
31

発行

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)

〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1

TEL/FAX 092-608-5982

E-mail dousoukai@fit.ac.jp

URL <http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>

